

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【美術】

書名 項目	美術		9 開隆堂
内容	〈生徒が「必要感」・「思考の深まり」・「達成感」を味わうことができる工夫がされているか〉		
	<p>○「必要感」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学びたくなるめあての提示の工夫</li> <li>・課題解決に向けた「見通し」の工夫</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美術作品として、マンガが大きく取り上げられており、生徒の興味関心を高める工夫がされている。</li> <li>・題材ごとに示されている目標が簡潔な表記となっており、生徒が見通しをもって学習に取り組めるように配慮されている。</li> </ul>	
	<p>○「思考の深まり」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒自身の思考を広げ深める工夫</li> <li>・学び合いの視点</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作品と合わせて「作者のことば」やアイデアスケッチなどを掲載し、作品がどのような発想・構想のもとにできたのかの紹介がある。</li> <li>・生徒の見方や感じ方を広げたり深めたり、グループで対話しながら鑑賞できる紙面構成となっている。</li> <li>・巻末に生徒の興味・関心を高め主体的に学ぶことができる資料として、「学びの資料」のページが設けられている。</li> </ul>	
	<p>○「達成感」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した単元計画の工夫</li> <li>・学んだことを理解、確認する「まとめ」の工夫</li> <li>・学んだことを生かし、生活を豊かにする態度につながる工夫</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分野ごとに題材が構成されており、それぞれの活動で「発想・構想」「知識・技能」から題材が構成されている。</li> <li>・デジタルコンテンツに、題材ごとの振り返りシートが掲載されている。</li> <li>・現代作家の言葉を引用して、美術と関わる生き方が紹介されている。</li> </ul>	
	〈教科等横断的な視点を取り入れた工夫がされているか〉		
<p>○「教科等横断的な視点」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・言語活動</li> <li>・情報活用能力</li> <li>・問題発見・解決能力の視点</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達とともに活動する題材が取り上げられており、協働的な活動の中で言語活動が充実するような工夫がされている。</li> <li>・著作権についての特設ページで、著作者と芸術文化を保護する仕組みとしてまとめて掲載されている。</li> <li>・参考作品に合わせて思考ツールを掲載することで、題材にせまるための解決の視点のヒントが掲載されている。</li> </ul>		
その他	<p>〈資料の構成・配列や表記・表現〉</p> <p>○生徒が学びたくなる資料（挿絵・写真・図表等）の工夫が見られるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・表紙の加工が、作品に合わせたものとなっている。</li> </ul> <p>○教材や内容の文章表現の難易度について、生徒の発達の段階からどのような工夫が見られるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・協働で行う創造活動の作品数が多く掲載されている。</li> </ul>		

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【美術】

書名 項目	美術		38 光村
内容	<生徒が「必要感」・「思考の深まり」・「達成感」を味わうことができる工夫がされているか>		
	<p>○「必要感」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学びたくなるめあての提示の工夫</li> <li>・課題解決に向けた「見通し」の工夫</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リンゴを例に1つの対象物から様々な表現方法が提示されており、生徒の興味関心を高める工夫がされている。</li> <li>・ページごとに表現と鑑賞に分かれており、授業の流れを捉えられる構成となっている。</li> </ul>	
	<p>○「思考の深まり」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒自身の思考を広げ深める工夫</li> <li>・学び合いの視点</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「みんなの工夫」では、生徒が試行錯誤しながら思考を広げ深める制作過程が掲載されている。</li> <li>・鑑賞題材「体感ミュージアム」では、デジタルコンテンツを活用することで友達とともに鑑賞をさらに深められる工夫がされている。</li> <li>・中学3年間で必要な資料を美術1資料として、別冊でまとめられている。</li> </ul>	
	<p>○「達成感」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した単元計画の工夫</li> <li>・学んだことを理解、確認する「まとめ」の工夫</li> <li>・学んだことを生かし、生活を豊かにする態度につながる工夫</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体で鑑賞から表現活動に関連付けて学べるような紙面構成になっており、見通しが持てる工夫がされている。</li> <li>・題材の最後に、まとめとしての鑑賞が位置づけられている。</li> <li>・これまでの学びを振り返るとともに、美術の力について考えられるような紙面構成となっている。</li> </ul>	
	<教科等横断的な視点を取り入れた工夫がされているか>		
	<p>○「教科等横断的な視点」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・言語活動</li> <li>・情報活用能力</li> <li>・問題発見・解決能力の視点</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鑑賞時の言語活動が充実するよう、様々な機能を含んだデジタルコンテンツが用意されている。</li> <li>・別冊資料で肖像権著作権について記載がある。</li> <li>・鑑賞ページでは「point」として、形・色彩・材料等具体的に示されており、話し合う視点が明確になっている。</li> </ul>	
その他	<p>&lt;資料の構成・配列や表記・表現&gt;</p> <p>○生徒が学びたくなる資料（挿絵・写真・図表等）の工夫が見られるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタルコンテンツが豊富に用意されている。</li> </ul> <p>○教材や内容の文章表現の難易度について、生徒の発達の段階からどのような工夫が見られるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・とじ込みに、和を感じさせる質感の紙で「日本の絵画を楽しむ5つのキーワード」が設定されている。</li> </ul>		

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【美術】

<p>書名 項目</p>	<p style="text-align: center;"><b>美術</b></p>		<p style="text-align: center;">116 日 文</p>
<p>内容</p>	<p>＜生徒が「必要感」・「思考の深まり」・「達成感」を味わうことができる工夫がされているか＞</p>		
	<p>○「必要感」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学びたくなるめあての提示の工夫</li> <li>・課題解決に向けた「見通し」の工夫</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・巻頭ページでは、表紙の作品が紹介されており、学びたくなる工夫がされている。</li> <li>・全ての題材で「鑑賞の入り口」として、題材に応じた作品と考えるポイントが提示されており、学習の見通しがもてる工夫がされている。</li> </ul>	
	<p>○「思考の深まり」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒自身の思考を広げ深める工夫</li> <li>・学び合いの視点</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作品の作者の言葉を掲載し、自分の発想・構想を広げ深める手掛かりとなる工夫がされている。</li> <li>・実寸大の土器、実際にページを折る屏風等、体感的に鑑賞できる造本上の工夫がされている。</li> <li>・生徒間での鑑賞活動を促すような情景写真が掲載されている。</li> </ul>	
	<p>○「達成感」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した単元計画の工夫</li> <li>・学んだことを理解、確認する「まとめ」の工夫</li> <li>・学んだことを生かし、生活を豊かにする態度につながる工夫</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「鑑賞の入口」から学習に入り、表現活動へ入るという学習の流れで見通しが持てる。</li> <li>・まとめを含めたワークシートが二次元コードから活用できる。</li> <li>・表紙や巻頭ページで、パブリックアートが紹介されており、生活と美術のつながりを意識できる紙面構成となっている。</li> </ul>	
	<p>＜教科等横断的な視点を取り入れた工夫がされているか＞</p>		
<p>○「教科等横断的な視点」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・言語活動</li> <li>・情報活用能力</li> <li>・問題発見・解決能力の視点</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各題材に「鑑賞の入口」として、対話を促す問いが示されており、言語活動を促す工夫がされている。</li> <li>・ICTを活用する際に必要となる、情報モラルや著作権、肖像権について取り上げられている。</li> <li>・各題材のはじめに、問いが設定されていることで、問題解決的な視点から制作にあたる構成となっている。</li> </ul>		
<p>その他</p>	<p>＜資料の構成・配列や表記・表現＞</p> <p>○生徒が学びたくなる資料（挿絵・写真・図表等）の工夫が見られるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「くわしく見てみよう」では二次元コードを活用し、博物館や図書館、美術館の動画を見たり、音声を聞いたりすることができ、学ぶ意欲の向上につながる。</li> </ul> <p>○教材や内容の文章表現の難易度について、生徒の発達の段階からどのような工夫が見られるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の作品数が、多く掲載されている。</li> </ul>		